

## 平成29年度第2回千葉競輪場開催業務等包括委託審査委員会議事録（要旨）

1 日 時 平成29年11月1日（水）午後1時30分～午後3時00分

2 場 所 千葉競輪場4階多目的室

3 出席者 （委員）

篠崎委員長、藤本委員、高岡委員、山本委員

（事務局）

杉戸経済部長、大町経済企画課長、鴻崎所長、酒井所長補佐

山本主任主事

（日本写真判定株式会社 以下「JPF」）

荻原統括マネージャー、邊田所長、石塚所長代理、高橋所長代理、青野

4 議 題

（1）千葉競輪開設記念の報告及び包括業務委託の進捗状況モニタリングについて  
（7月～9月）

（2）その他

千葉競輪場の現状について

5 会議経過

（篠崎委員長）

議題1の包括業務委託の進捗状況モニタリングについて、JPFに説明を求める。

（JPF）

（千葉競輪開設記念について）

4日間の開催中、ほぼ雨だったが、大きな事故もなく終了した。売上額は目標額の58億円に対して約57億1千万円と、わずかに届かなかった。

入場者数は、2日目の日曜日に若干人数が減ったが、全体で前年度比約6%増加した。

大きな要因として、売上額のうち場外発売が大半を占めているが、関東地方だけではなく全国的に悪天候だったため、売上が減少したと考えられる。雨以外の一因として、4日間の全日程において近接・競合する京王閣のナイター開催があり、ナイター発売が始まる9レース以降の売上に影響が出たのではないかと分析している。

(千葉競輪開設記念広報関係)

地元メディアの協力で千葉日報と千葉テレビ放送で千葉競輪開設記念をPRした。

地元メディア向けキャラバンは日本競輪選手会千葉支部（以下「選手会」）中村支部長にご参加いただいた。また、スポーツ紙向けのメディアキャラバンには伊勢崎彰大選手にご参加いただき、広報活動を行った。

千葉競輪場ホームページの特設ページに関して、今年は特に力を入れ、内容を充実させた。

(7～9月の市営競輪について)

1. 第4回千葉市営競輪FⅠ (7/3～7/5)

- ・JPF直営飲食サービス「CKB カフェ」を開設。
- ・外れ車券抽選会を実施。
- ・千葉市内のプロレス団体「KAIENTAI DOJO」によるプロレスの試合を開催。
- ・キャッシュバックキャンペーンを実施。

2. 第5回千葉市営競輪FⅡ ガールズ (7/18～7/20)

- ・「CKB カフェ」開設。
- ・ガールズ選手によるオープニングセレモニー。
- ・ガールズ選手によるウィニングラン。
- ・ガールズ勝利選手とハイタッチができる企画を行った。
- ・キャッシュバックキャンペーンを実施。

3. 第6回千葉市営競輪FⅠ (7/31～8/2)

- ・抽選会、優勝者当てクイズを実施。
- ・キャッシュバックキャンペーンを実施。

4. 第7回千葉市営競輪FⅡ (8/11～8/13、9/3～9/5)

①FⅡ ガールズ (8/11～8/13)

- ・ガールズ選手によるオープニングセレモニー。
- ・ガールズ選手によるウィニングラン。
- ・ガールズ勝利選手とハイタッチができる企画を行った。
- ・加曽利貝塚のメインキャラクター「かそりーぬ」と千葉競輪のマスコットキャラクター「ライモン」が一緒にレースを盛り上げる企画を実施。
- ・キャッシュバックキャンペーンを実施。

②FⅡ ガールズ (9/3～9/5)

- ・インターネット投票者向けに今後の250競輪の周知を兼ねたキャッシュバックキャンペーンを実施。

5. 第8回千葉市営競輪FⅡ (9/11～9/13)

- ・キャッシュバックキャンペーンを実施。

- ・バンク走行会を実施。  
(市営競輪開催以外のイベントについて)
- ・ 7月15日～16日に地域住民を対象に千葉競輪夏祭りを行った。
- ・ 7月16日にイオンシネマユーカリが丘で、選手会と一緒に千葉競輪場の広報活動を行った。
- ・ 9月9日に、仮装して走る4輪レースイベント「第7回 GSR カップ」に選手会と共同でブースを出店した。
- ・ 9月23日に「千葉サイクルクラブカップ」を実施した。
- ・ 千葉けいりん農園は継続中。11月19日にBBQ大会を実施予定。

(統制業務について)

- ・ 千葉競輪場の車券のデザインについて、透かしの部分に、元々あった千葉競輪のマークと名前に加え、滝澤正光校長の好きな「夢」という文字を印字した。

(平成29年度本場・場外売上状況について)

- ・ 4月から千葉競輪開設記念まで、本場の売上額は前年比ほぼ横ばいで目標通り推移している。目標達成のため、残り2開催キャッシュバックキャンペーンを実施する。
- ・ 場外収入は、売上が大きく落ち込んでいる。
- ・ 車券売上額は天候に影響される傾向があり、例えば10月は20日以上雨だった影響で、昨年比約12%減少した。
- ・ 場外発売額アップのため、千葉市主催「千葉湊大漁まつり」に参加する等、来場者売上アップのため積極的に工夫して実施していく。
- ・ 12月で本場開催が終了するので、次回委員会で今年度の売上総額の説明を行う。

(篠崎委員長)

議題(1)包括業務委託の進捗状況モニタリングについて、市のモニタリング結果を市に説明を求める。

(事務局 酒井所長補佐)

- ・ 受託者から提出のあった平成29年度開催事業実施計画にもとづき計画通り事業を実施していることを確認した。
- ・ 開催ごとに、千葉競輪開設記念及び7月から9月までの開催業務実施計画書及び開催業務実施報告書の提出を受けて、市営競輪の開催業務について検査を行い、実施計画通り開催業務を良好に遂行していることを評価した。

(篠崎委員長)

千葉競輪開設記念の売上が目標に届かなかったという事だが、全国的に見てこれはどうだったのか？

(事務局 鴻崎所長)

4月以降の売り上げとしては、久留米(59億5千万円)、高知(57億2千万円)に続き3番目であることから、売り上げは良かったと考えている。

(藤本委員)

資料に外人選手が載っていたが、千葉競輪場には海外からの来場者は多いのか？また、250バンク完成時に海外旅行者を誘致することは考えているか？

(JPF)

今のところ、海外からの来場者は見受けられない。

(事務局 杉戸部長)

市の施策として、スポーツとしての自転車を広く振興していきたい。

海外からの旅行者の誘致については、今後検討していきたい。

(篠崎委員長)

本場開催は12月が最後か。

(事務局 杉戸部長)

12月15日～17日に開催する東出杯が最後の本場開催となる。

(篠崎委員長)

70年近い歴史を持った、沢山のファンが足を運んでくれた競輪場を一度閉めることになるので、感謝の気持ちが伝わるような開催にして頂きたい。

(篠崎委員長)

議題1について了承。

議題2のその他について、事務局に説明を求める。

(事務局 杉戸部長)

市として現段階での決定事項は、250競輪での事業継続である。

東京オリンピックの盛り上げを最大限生かし2020年、平成32年の秋を目標に新施設を完成させる予定。

決まっているのはそこまでだが、建設にあたって、競輪場内の一部の国有地を購入し、民間資本を活用し競輪場を作る。合わせて250バンクになって、施設に必要な敷地面積などが小さくなるので、余った土地に老朽化した公園体育館を建替え、併設する。

従事員については、今の段階で言える事は、場外発売を継続するので、就業日数の面

での影響は少ない。

周辺住民については理解頂けるよう丁寧に説明していきたい。また、市営開催を行わないと競輪の施行権が消滅するので、南関東の施行者を中心に協力を呼びかけ、競輪場を借上げる形で千葉競輪開設記念等を開催していきたい。

市営競輪の開催節数等については、現在関係団体と協議中である。

(篠崎委員長)

議題 2 について了承。